

「パパとママはわかつちやいない……
小犬のバタシーとボクは兄弟だ」
小さな夢をうちくだきチームズの流れも涙で溢れた愛と感動の名作！

PETER SELLERS as "Old Sam"

THE OPTIMISTS

別れの街角

〈ヘカラー作品〉

ジョン・チェイフィー坊や／ドンナ・ミューレン／ピーター・セラーズ

原作・監督・脚本アンソニー・シモンズ／音楽ライオネル・バート／原作・角川文庫／サントラ盤（東宝・AMレコード）

●かいせつ

大人はもう忘れてしまったのだろうか？ 子供は小さな王国の主であることを。そこにはささやかだけれど、確固とした彼らの世界があるのだ。かつては誰もがそうであつたにもかかわらず、いつしかあくせくとした生活に追われるうちに思い出すことさえ忘れてしまっているのだ。

「小さな恋のメロディ」別れのクリスマス」でそんな子供たちの世界をフレッシュに描いたイギリス映画界が、ロンドンの下町を舞台に、幼い姉弟と落魄した老芸人の心あたたまる交流のなかに、人生のベースを味わいさせつつ描き出した愛と涙の秀作。

監督のアンソニー・シモンズは「ベニス映画祭短部門」でグランプリを得てデビューしたイギリス映画界の俊鋭。自らの小説をもとに脚本も担当している。

サムには「クルーゾー警部」でおなじみのピーター・セラーズが淡い名演を披露する。リズとマークの姉弟を演ずるのは一般からスカウトされたドンナ・ミュレンとCMタレントだったジョン・チェイフィー。二人の可愛い名演技は日本でもファンが急増することだろう。プロデューサーの一人には、あの「小さな恋のメロディ」のアドリアン・ゲイツが名を連ねている。また全篇に口ケされたロンドンの街が素晴らしい効果をあげている。

●ものがたり

リズ（ドンナ・ミュレン）は11才。弟のマーク（ジョン・チェイフィー）は6才。二人はいつもいっしょだった。両親はこの狭く薄汚いアパートから、何とか川向うの公団住宅に移ろうとして、四六時中

働かざるを得なかった。二人にはいっつこうに構ってくれないのだ。だからリズとマークはいつも二人で遊ぶしかなかったのだ。リズとマークはある日、サム（ピーター・セラーズ）に出会った。サムは路上で愛犬のペラとともに、ささやかな芸を売っては小金にありつくだけの老芸人だった。かつてはミュージック・ホールの人気者だった彼も、いまはひっそりとしていまこまれた華やかだった日々の舞台衣裳とペラに囲まれただけのバラックで淋しく暮らす孤独な老人だった。幼い二人とサムはお互い知らず知り合い、奇妙な友人になる。サムは二人がいくら両親にねだってもけつして連れていってくれなかったハイド・パークや、あのビルの林立している川向うの街に連れていってくれるのだ。リズとマークは毎日のようにサムのバラックに押しかけては、サムが語ってきかせる話に聞き入っているのだ。

リズとマークは、サムのペラを見ているうちに、どうしても自分たちの犬が欲しくなった。サムが野犬収容所に連れていって来て、そこでマークは可愛い小犬を選ぶが、ひきとるのは金が必要だった。両親にも相談しかねて、二人はその金を何とかつくるうとするがどうしても足りない。それをみかねたサムは自分とほしい貯金のなかから援助してやるのだった。二人の小犬はバタシーと名付けられた。嬉々として飛びはねるリズとマークをよそに、サムの表情は冴えなかった。長年

つき合ってきたペラの様子がおもわしくなかったのだ。しかし、リズとマークにも難関

が待ちうけていた。二人の連れ帰ったバタシーを見て、両親がカンカンに怒り出したのだ。とほうにくれた二人はサムのバラックにいった。

するとサムが盛装に身をこらしたまま酒に酔いしれているのだ。彼の傍には冷たくなったペラが毛布に包まれていた。悲しみのあまりただ、酒を飲むだけのサムをみて、リズとマークは、いつか約束したように、ペラをハイド・パークに埋めてやろうとする。

リズとマークの両親は夜になつても帰ってこない二人を心配しはじめて騒ぎになっていた。サムを問いつめてハイド・パークに駆けつけたが、リズとマークはおびえたように闇の中に身をひそめたまま出て来ない。怒り出した父親にサムは毅然といつてのけた。

「子供たちのことを考えてやりなさい。叱るだけでは駄目だ。食わせるだけでは駄目だ。彼らには夢が必要なのだ」

ロンドンの朝がようやく明けはじめようとしている。

（上映時間 一時間五十分）



別れの街角

カラー作品

サントラ盤／東宝TAMレコード

ジョン・チェイフィー 役
ドンナ・ミュレン
ピーター・セラーズ
原作・監督・脚本/アンソニー・シモンズ
イギリス映画

日本ヘラルド映画



THE OPTIMISTS



*11月中旬よりロードショー

テアトル銀座 (561) 7938